Vol.312

2024.11.6

片瀬白田駅を「熱川温泉病院・ライフケアガーデン熱川」がネーミングライツしました。

医療法人社団 健育会　理事長 竹川 節男

熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川が最寄り駅となる伊豆急行 片瀬白田駅を副駅名「熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川駅」としてネーミングライツしました。

熱川温泉病院は59年前、先代の理事長が温泉療法と併用したリハビリテーションを目的に、民間で初めて設立した病院です。
山梨や群馬など、いくつかの候補もありましたが、温泉も良く、気候も温暖で川も流れ、環境の良いこの地を選んだそうです。

当初、ほとんどが首都圏の患者さんでしたが、少しずつニーズが拡がり、入院患者さんが増加したため、増設を繰り返し大きくなりました。
そのつぎはぎだらけの建物は、私が理事長に就任した際に、一つの建屋として建て替えを行い、現在の建物となりました。

最近では地元の患者さんも多く利用し、当時は行っていなかった一次救急にも対応し、地元に貢献しています。
そして、介護付き有料老人ホーム ライフケアガーデン熱川も併設しました。

片瀬白田は、この病院が開設して子供の頃から月に1，2回は遊びに訪れ、個人的にも、健育会にとってもなじみのある土地です。この街が活性化していく原動力となるよう、そのきっかけとして、この度、片瀬白田駅のネーミングライツを行いました。
駅名のネーミングライツは健育会として初の試みとなります。

今回のネーミングライツのお披露目として、11月1日に片瀬白田駅にて、伊豆急行株式会社 代表取締役社長 土方健司氏、東伊豆町 副町長 鈴木嘉久氏を迎え、セレモニーを行いました。

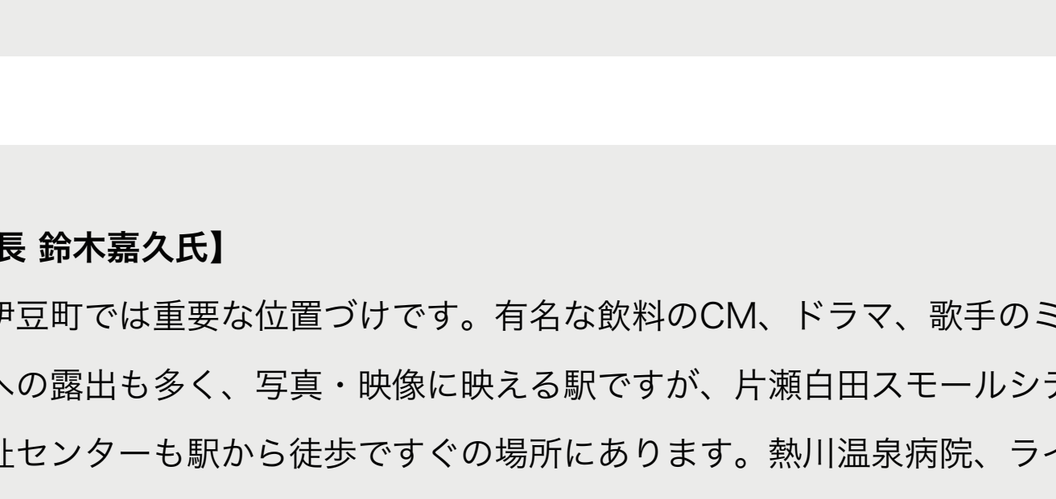
【伊豆急行株式会社 代表取締役社長 土方健司氏】

伊豆急行では、スポンサーの企業価値向上、認知向上、そして地域の活性化を目的としてネーミングライツを進めてきましたが、この度、長年、片瀬白田の地域とともに歩まれてきた熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川がこのネーミングライツに賛同いただき、片瀬白田駅の副駅名を命名する運びとなりました。

これによって、東伊豆町と熱川温泉病院・ライフケアガーデン熱川と連携することで、より健康的な街づくりの一環となり、地域に愛される病院、施設、駅となっていただきたいと願っています。

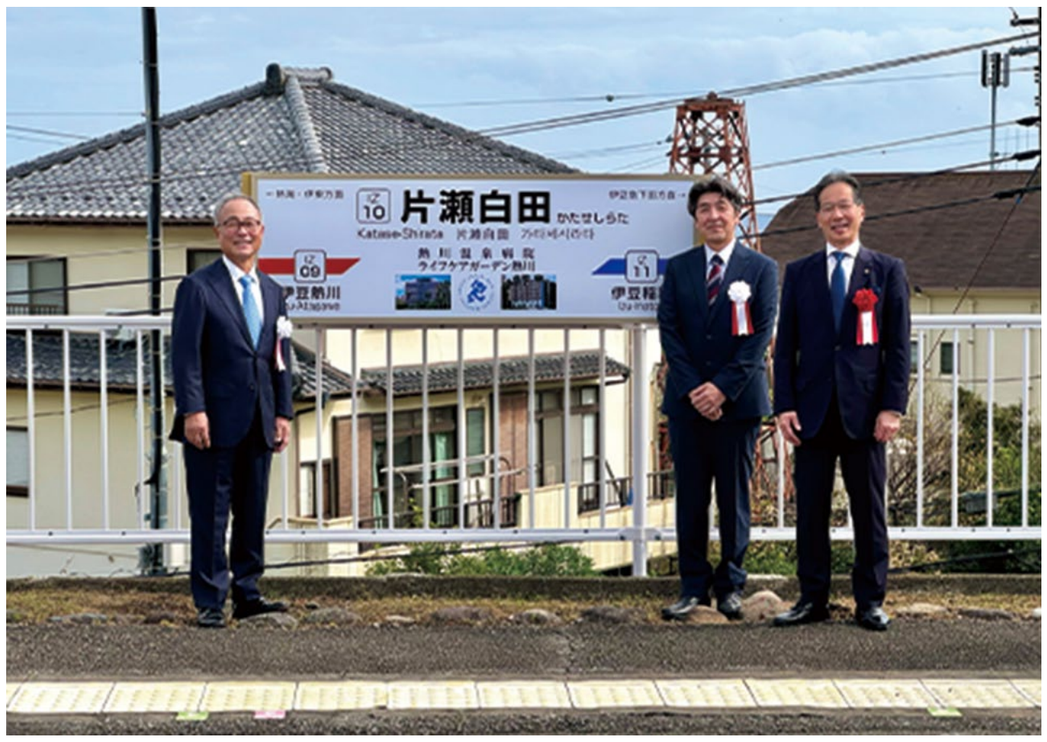
【東伊豆町 副町長 鈴木嘉久氏】

片瀬白田駅は東伊豆町では重要な位置づけです。有名な飲料のCM、ドラマ、歌手のミュージックビデオなどメディアへの露出も多く、写真・映像に映える駅ですが、片瀬白田スモールシティ構想の中心でもあり、保健福祉センターも駅から徒歩ですぐの場所にあります。熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川のネーミングライツによって、片瀬白田駅を中心とした健康、医療、福祉を担う地域としてなじんで発展していくことを願っています。



両名の挨拶の後、私もスポンサー代表として挨拶しました。

その後、テープカットを行い、伊豆急行株式会社 代表取締役社長 土方健司氏の案内で片瀬白田駅の構内を案内しいていただきました。



セレモニーには、伊豆新聞・テレビ静岡・東伊豆有線テレビ放送をはじめとする報道関係の方々も集まり、私も取材を受けました。

この様子は、新聞やYahoo！ Newsでも報道されました。

【伊豆新聞】

伊豆新聞
令和6年（2024年）11月2日（土曜日）
「熱川温泉病院・ライフケアガーデン熱川」
伊豆急 片瀬白田に副駅名
賀茂6市町広域連携会議
地域交通再構築へ
「ライドシェア」で意見交換
県は導入促進検討
伊豆地区は1人
南伊豆チームを激励
南伊豆町長と佐野教育長
狩猟解禁

【Yahoo! NEWS】

このネーミングライツをきっかけとして、熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川はもちろん、街の起爆剤となり、この地域が東伊豆町の健康、医療の中心として益々発展することを祈っています。